

## 第11回全国中学生創造ものづくり教育フェア アイデアバック部門 長野県大会 実施要項



写真：第10回 全国中学生創造ものづくり教育フェアより

- 1, 目的 この大会は中学校技術・家庭科教育の一環として中学校生徒に広くものづくり教育の実践・発表の機会を与え、技能の向上と生徒の相互の親睦をはかるものとする。
- 2, 主催 長野県技術・家庭科教育研究会 全日本中学校技術・家庭科研究会
- 3, 後援 長野県教育委員会 信濃教育会
- 4, 日程 平成22年10月31日（日）
- 5, 会場 清水中学校 被服室
- 6, 課題 全国大会課題と同一のものとする。  
※事前に作品及び製作レポートを事務局（豊科南中）に提出する。  
※申し込み多数の場合は事務局で審査を行い、県大会出場者10名を選出する。
- 7, 費用 参加料 無料 材料は各自で用意する。（2000円以内）
- 8, 申込先

〒399-8205 安曇野市豊科1487 安曇野市立豊科南中学校 中山千代子 Tel 0263-72-7860 fax 0263-72-7870
---

- 9, 申込方法 所定の用紙に必要事項を記入し、学校長の承認を経て申し込むこと。

① 申込書 ② レポート ③ 作品 (①②は県研究会Webページか事務局より) ※10月1日必着

# 競技について (基本的に平成21年度のものと同様とする)

## 1、競技の課題および課題製作上の注意点について

①課題は、『バッグ』とする。

②使用する布の合計面積は110cm×50～100cmとする。(使用する布は、複数種類使ってもよい)

③『バッグ』について。

- ・裏地は付けず、一重仕立てとする。
- ・立体構成にする。
- ・『バッグ』の口がふさがるようにする。(中身のでない工夫をする)

④デザインの工夫は『バッグ』本体とする。

- ・裁断後の残布の量をできるだけ少なくする工夫を入れる。布目方向は丈夫さなどを考慮する。  
(布目方向が異なるパーツもあってよい)
- ・入れるものの使用目的に合わせて、強度が耐えうる縫い目および縫い代の始末をする。

⑤ポケットは必ず『バッグ』本体に付ける。

(ポケット口は三つ折りにし、手でまつり縫いをする)

⑥スナップは1つ以上つける。(ボタンを付けることは可能)

⑦型紙の作成は事前に行い、当日の競技は『布を整え、型紙の配置』から始めることができるようにする。

⑧『バッグ』につける装飾品は事前に製作してくることは認められない。

(競技時間内で製作する)

⑨当日製作した『バッグ』の利用について、実際に入れるものを使いながら発表会を行う。

1分程度の発表を行う。

⑩競技時間は3時間30分とし、時間内に完成させる。

⑪材料費は、2000円程度とする。

⑫製作レポートは規定の用紙を用いることとし、必ず手書きをして、A4で2枚提出する。

※変更のある場合はWebページに掲載する。

## 2、審査項目

	評価項目	説明
準備	布の整え方・配置	布目が整い、布地にムダが出ないような配置をしているか。 (布目方向が異なることがあるが、布の使い方を工夫し、裁断後の残布の量をできるだけ少なくしているか。)
	裁ち目	裁ち目がきれいにそろって裁断されているか。
	しるし付け	布地にあった方法で、正確に印が付いているか。 角や合い印の付け方がわかっているか。
本縫い	縫い代の量	縫い代が適量であるか。(縫い代の始末による多少の違いはあっても、多すぎたり少なすぎたりしていないか。)
	しつけ及びまち針	本縫いに役立つしつけ又は、まち針が適切にできているか。
	課題の縫製	【ミシン縫い】袋の使用目的に合わせて、強度が耐えうる縫い目及び縫い代の始末等ができていないか。ポケットが本体にしっかり付けられているか。 【手縫い】ポケット口を三つ折りにし、まつり縫いをしているか。スナップを1つ以上付けているか。(ボタン付けも可)
	縫う手順	縫う手順に不都合やミスがなく、能率的に正しく縫うことができているか。
技能	ミシンの操作	ミシンの基本的な操作が身に付いているか。
	アイロンの使い方	製作途中にも必要に応じてアイロンを適切に使いこなしているか。
	安全な作業	針やはさみの扱い、ミシンの操作、アイロンかけなどの作業を安全に行っているか。糸くずなどの処理ができていないか。
発表	使い方の工夫	実際に入れるものを使い、テーマで意図したことが、具体的に作品上に表現されているか。「私にとってのものづくり」についてのメッセージが入っているか。
その他	完成	時間内に完成できたか。
	デザイン	デザインが使用目的に合っていて、活用に耐えうるものであるか。 作品にアイデアや工夫が活かされているか。
	レポート	「テーマ」「構想」「(私の)豊かさの視点」「私にとってのものづくり」が、具体的に表現されているかがともしはっきりして、工夫されているか。何を入れるための『バッグ』かが明確にされているか。

豊かな生活を創るアイデアバック製作レポート

都道府県	がっこうめい 学校名	せいとしめい 生徒氏名
<p>&lt;製作テーマ 入れるもの&gt;</p>		
<p>&lt;作品PR&gt; ※生活の豊かさとわたしにとってのものづくりの視点を入れて。</p>		
<p>&lt;材料と分量&gt; ※使用する材料はすべて個数も記入する。布の材質・種類・用量等も具体的に記入する。</p>	<p>&lt;型紙配置図（必要な枚数を記入）&gt; 布目方向がわかるように記入する。</p>	

<できあがり予想図（デザイン図）> ※ポイントになることがわかるように前後（横）など角度を変えて記入する。

<作業手順>※1 課題の縫製箇所をわかるように記入する。 ※2 課題の縫い方を取り入れた部位を記入する。（使用目的に合わせた強度がある縫い目、縫い代の始末 ・ポケットの付け方 ・スナップ付け 中身の出ない工夫）。

